

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名 山田コンサルティンググループ株式会社
 コード番号 4792 URL <http://www.yamada-cg.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 山田 淳一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷田 和則

TEL 03-6212-2500

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,760	27.6	388	168.6	332	153.1	176	151.8
24年3月期第1四半期	1,379	16.0	144	△8.6	131	2.0	70	16.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 210百万円 (164.1%) 24年3月期第1四半期 79百万円 (63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3,683.97	3,674.86
24年3月期第1四半期	1,457.18	1,456.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	7,044	5,626	77.8	114,241.52
24年3月期	7,550	5,665	71.5	112,580.62

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,484百万円 24年3月期 5,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1,000.00	—	2,000.00	3,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	3.2	520	△4.1	430	0.5	230	△2.7	4,790.86
通期	6,100	△0.3	1,200	△3.7	1,100	△5.2	620	4.8	12,914.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	49,740 株	24年3月期	49,740 株
25年3月期1Q	1,732 株	24年3月期	1,733 株
25年3月期1Q	48,007 株	24年3月期1Q	48,193 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定その他関連事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）の業績は、売上高1,760,708千円（前年同期比27.6%増）、営業利益388,014千円（同168.6%増）、経常利益332,308千円（同153.1%増）、税金等調整前四半期純利益332,308千円（同153.1%増）、四半期純利益176,856千円（同151.8%増）となりました。

各セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(経営コンサルティング事業)

経営コンサルティング事業の当第1四半期業績は、売上高1,086,472千円（前年同期比36.3%増）、営業利益271,338千円（同242.5%増）となりました。

当第1四半期は、企業再生コンサルティングを中心としたコンサルティング案件の受注状況・加工作業が引き続き順調であったこと、及び第2四半期以降に売上実現を見込んでいた数件の大型案件について当第1四半期で加工作業が完了し売上実現できたことから、業績は前年同期比大幅な増収増益となりました。

(資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の当第1四半期業績は、売上高150,274千円（前年同期比25.1%増）、営業利益10,060千円（前年同期は4,377千円の営業損失）となりました。

当第1四半期は、ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務の受注が当初計画通りに推移したことから、当初計画通りの業績を確保することができました。

(不動産コンサルティング事業)

不動産コンサルティング事業の当第1四半期業績は、売上高138,650千円（前年同期比1.2%増）、営業利益41,179千円（同1.8%減）となりました。

当第1四半期は、不動産仲介案件、物納コンサルティング及び不動産有効活用コンサルティング案件の受注が順調であり、その加工作業も順調に完了し売上実現できたことから、当初計画以上の業績を確保することができました。

(F P 関連事業)

F P 関連事業の当第1四半期業績は、売上高133,253千円（前年同期比4.6%増）、営業利益6,238千円（前年同期は225千円の営業利益）となりました。

当第1四半期は、個人マーケットではF P 資格取得講座の受講者数が前年同期比減少したこと等により苦戦いたしましたが、法人マーケットではF P 実務研修の受注が順調であったことから、若干ではありますが営業利益を確保することができました。

(投資ファンド事業)

投資ファンド事業の当第1四半期業績は、売上高290,368千円（前年同期比28.1%増）、営業利益58,825千円（同117.3%増）となりました。

事業承継ファンドであるキャピタルソリューション壱号ファンドにおいて、投資先1社の株式を売却しキャピタルゲインを実現したことから、営業利益を確保することができました。

なお、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高38,310千円（経営コンサルティング事業15,080千円、資本・株式・株主に関するコンサルティング事業20,270千円、F P 関連事業2,959千円）が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第1四半期連結累計期間における営業活動、投資活動、財務活動による各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

(全体キャッシュ・フローの概要)

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が332,308千円あったこと、営業投資有価証券の減少額217,097千円、賞与引当金の増加額80,570千円等の資金増加要因があったものの、法人税等の支払額484,573千円、その他の負債の減少額206,163千円、少数株主への分配金の支払額154,258千円、配当金の支払額80,817千円があったこと等から243,738千円の資金減（前年同期は226,737千円の資金増）となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間末の資金残高は3,446,718千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、28,992千円（前年同期は304,649千円の資金増）となりました。

これは、法人税等の支払額484,573千円、その他の負債の減少額206,163千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益が332,308千円あったこと、営業投資有価証券の減少額217,097千円（主としてキャピタルソリューション 壱号ファンド投資先1社の株式売却による減少）、賞与引当金の増加額80,570千円、売上債権の減少額76,907千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、54,661千円（前年同期は10,433千円の資金増）となりました。

これは、投資有価証券の取得による支出50,000千円（余剰資金の長期運用としての債券投資信託購入）があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、216,886千円（前年同期は88,344千円の資金減）となりました。

これは、少数株主からの出資受入による収入18,992千円（当社グループ運営ファンドへの当社グループ外出資者からの出資金受入額）があった一方で、少数株主への分配金の支払額154,258千円（当社グループ運営ファンドの当社グループ外出資者に対するファンド分配金支払額）、配当金の支払額80,817千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① セグメント別の状況

(経営コンサルティング事業)

当期(通期)につきましても、引き続き企業再生コンサルティングを中心としたコンサルティングニーズが高い状況にあることから、順調な業績を確保することができると見込んでおります。

今後も企業再生コンサルティング対応体制をより一層強化するとともに金融機関、大手弁護士事務所等との連携強化により確固たる営業基盤を構築してまいります。

また、地方対応強化として前年度に開設した東北支店及び九州事業所の本格稼働を目指すとともに、シンガポール支店及び平成24年7月に設立した中国現地法人を拠点として中国・アジア展開も積極的に推し進めてまいります。

(資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

当期(通期)につきましては、大手証券会社等の金融機関との営業ネットワークの更なる強化及び営業体制の見直し等により営業基盤を確立し、安定的な受注体制構築に注力してまいります。

資本市場の先行きは依然不透明ではありますが、ファイナンシャルアドバイザー業務を拡大推進し、前年度対比増収増益を目指してまいります。

(不動産コンサルティング事業)

当期(通期)につきましては、不動産市況とニーズの変化に柔軟に対応した幅広いコンサルティング業務を行うとともに賃貸管理業務及び住宅の販売仲介業務を強化することにより、安定的な利益確保を目指してまいります。

(FP関連事業)

当期(通期)につきましても厳しい事業環境が継続すると予想しておりますが、顧客ニーズを的確に捉えたオーダーメイド型実務研修の提案、資格取得講座幹旋先企業の深掘りと新規マーケットの開拓促進、インターネットを活用したWEB講座・研修の拡販等を地道に進めることにより、利益確保を目指してまいります。

(投資ファンド事業)

(a) キャピタルパートナー・二号ファンド

残存投資先2社の企業価値向上支援活動に引き続き注力してまいります。

(b) 事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンド

壱号ファンドにつきましては、残存投資先株式のイグジットを目指してまいります。

弐号ファンドにつきましては事業承継問題を抱えている優良な中堅・中小企業をターゲットにし、投資リスクを最小限に抑えながら慎重に投資案件を発掘してまいります。

② 平成25年3月期の連結業績予想

・第2四半期累計期間の連結業績予想数値

平成24年5月8日に公表した第2四半期累計期間の業績予想数値を売上高3,000百万円、営業利益520百万円、経常利益430百万円、当期純利益230百万円と上方修正いたしました。

経営コンサルティング事業において、当第1四半期は当初計画以上の業績であったこと及び第2四半期もコンサルティング案件の受注が順調に推移すると見込んでいること、加えてキャピタルソリューション壱号ファンドにおいて当第1四半期でキャピタルゲインを実現できたことから、第2四半期累計期間は当初業績予想数値を上回る業績見込みとなりました。

・通期の連結業績予想数値

今後の経済情勢の不透明さから通期連結業績予想を修正するほどの状況にはないと見込んでおり、平成24年5月8日に公表した通期連結業績予想数値に変更はありません。

平成25年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計期間 (平成24年7月26日修正)	3,000	520	430	230
通期 (修正なし)	6,100	1,200	1,100	620

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,690,457	3,446,718
受取手形及び売掛金	500,574	423,667
営業投資有価証券	441,325	224,227
商品及び製品	18,759	26,154
原材料及び貯蔵品	732	583
繰延税金資産	80,390	75,756
その他	277,598	310,615
貸倒引当金	△50,218	△50,665
流動資産合計	4,959,618	4,457,058
固定資産		
有形固定資産	209,422	203,729
無形固定資産		
のれん	10,299	8,153
その他	8,929	8,239
無形固定資産合計	19,229	16,393
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665,787	1,657,783
敷金及び保証金	295,723	294,103
繰延税金資産	192,865	205,449
その他	225,246	223,270
貸倒引当金	△21,053	△17,044
投資その他の資産合計	2,358,570	2,363,563
固定資産合計	2,587,222	2,583,686
繰延資産	3,824	3,509
資産合計	7,550,665	7,044,255
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,357	45,689
短期借入金	250,000	250,000
1年内償還予定の社債	130,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	186,000	186,000
未払法人税等	476,266	120,211
賞与引当金	79,662	160,233
その他	563,158	370,632
流動負債合計	1,730,444	1,262,766
固定負債		
社債	130,000	130,000
その他	24,574	24,628
固定負債合計	154,574	154,628
負債合計	1,885,019	1,417,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,599,538	1,599,538
資本剰余金	1,518,533	1,518,533
利益剰余金	2,525,246	2,606,025
自己株式	△238,260	△238,123
株主資本合計	5,405,056	5,485,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△398	△1,465
その他の包括利益累計額合計	△398	△1,465
新株予約権	10,992	11,833
少数株主持分	249,996	130,520
純資産合計	5,665,646	5,626,860
負債純資産合計	7,550,665	7,044,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,379,190	1,760,708
売上原価	307,581	356,056
返品調整引当金戻入額	223	—
売上総利益	1,071,833	1,404,652
販売費及び一般管理費	927,380	1,016,637
営業利益	144,452	388,014
営業外収益		
受取利息	1,206	5,866
新株予約権戻入益	11,351	—
その他	1,041	1,161
営業外収益合計	13,599	7,027
営業外費用		
支払利息	2,535	2,128
為替差損	—	34,421
持分法による投資損失	21,611	21,611
その他	2,660	4,572
営業外費用合計	26,807	62,733
経常利益	131,245	332,308
税金等調整前四半期純利益	131,245	332,308
法人税、住民税及び事業税	35,560	128,432
法人税等調整額	16,073	△7,304
法人税等合計	51,633	121,127
少数株主損益調整前四半期純利益	79,611	211,180
少数株主利益	9,385	34,323
四半期純利益	70,226	176,856

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,611	211,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△1,067
その他の包括利益合計	△79	△1,067
四半期包括利益	79,532	210,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,146	175,789
少数株主に係る四半期包括利益	9,385	34,323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131,245	332,308
減価償却費	7,929	7,605
のれん償却額	2,145	2,145
持分法による投資損益(△は益)	21,611	21,611
新株予約権戻入益	△11,351	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△337	△3,561
賞与引当金の増減額(△は減少)	69,604	80,570
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△223	—
受取利息及び受取配当金	△1,206	△5,866
支払利息	2,535	2,128
為替差損益(△は益)	—	33,218
投資事業組合運用損益(△は益)	750	750
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	179,140	217,097
売上債権の増減額(△は増加)	286,930	76,907
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,050	△7,246
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,091	332
その他の資産の増減額(△は増加)	△150,794	△46,729
その他の負債の増減額(△は減少)	△131,307	△206,163
小計	385,630	505,106
利息及び配当金の受取額	1,142	9,887
利息の支払額	△1,237	△1,427
法人税等の支払額	△80,886	△484,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,649	28,992
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,061	△2,042
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
出資金の分配による収入	1,100	—
保険積立金の解約による収入	16,668	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,303	△785
その他の支出	△2,040	△2,040
その他の収入	71	206
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,433	△54,661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
少数株主からの出資受入による収入	3,071	18,992
自己株式の取得による支出	△4,799	—
自己株式の処分による収入	—	53
配当金の支払額	△81,518	△80,817
少数株主への分配金の支払額	△4,413	△154,258
その他	△685	△855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,344	△216,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226,737	△243,738
現金及び現金同等物の期首残高	3,001,934	3,690,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,228,672	3,446,718

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサルティング事業	資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	不動産コンサルティング事業	FP関連事業	投資ファンド事業	
売上高						
外部顧客への売上高	782,247	107,783	136,741	125,891	226,527	1,379,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,780	12,269	224	1,485	—	28,758
計	797,027	120,052	136,965	127,376	226,527	1,407,949
セグメント利益又は損失(△)	79,202	△4,377	41,968	225	27,060	144,080

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	144,080
セグメント間取引消去	372
四半期連結損益計算書の営業利益	144,452

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な変動はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサルティング事業	資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	不動産コンサルティング事業	FP関連事業	投資ファンド事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,071,392	130,003	138,650	130,293	290,368	1,760,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,080	20,270	—	2,959	—	38,310
計	1,086,472	150,274	138,650	133,253	290,368	1,799,019
セグメント利益	271,338	10,060	41,179	6,238	58,825	387,641

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	387,641
セグメント間取引消去	372
四半期連結損益計算書の営業利益	388,014

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な変動はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。